

企画展

# 戦国時代の鎌倉

— もとの都に成してこそみめ —

鎌倉市指定文化財  
北条為昌朱印状  
(光明寺蔵)

鎌倉市指定文化財  
荏柄社造営関定書案  
(荏柄天神社蔵)

鎌倉市指定文化財 北条氏直書状  
(荏柄天神社蔵)

2020.

2021.

12.5<sup>土</sup> ~ 2.13<sup>土</sup>

@kamakura\_kmhc



主	催	／	鎌倉歴史文化交流館
開	館	時	／ 10:00~16:00(入館は15:30まで)
休	館	日	／ 日曜・祝日・年末年始
観	覧	料	／ 〔一般〕300円〔210円〕 〔小・中学生〕100円〔70円〕*
住	所	／	〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1
電	話	／	0467-73-8501 FAX/0467-73-8545
E - M a i l	／		rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp
ホ	ム	ペ	／ www.city.kamakura.kanagawa.jp/rekibun/koryukan.html

※〔 〕内は20名以上団体料金 \*本料金で本館平常展示もご覧いただけます。  
 \*鎌倉市内の小・中学生と、市内の65歳以上の方、または障がい者手帳等の交付を受けた方と  
 付き添い1名は無料となりますので、受付に学生証・福寿手帳等を呈示してください。  
 \*新型コロナウイルス感染症対策のため、記載内容に変更が生じる場合があります。  
 ホームページ等で、最新の情報をご確認ください。

学芸員による  
展示解説

会期中の毎週土曜日  
11:00~

鎌倉は、源頼朝が幕府を開いて以降一大都市として栄えます。その後、室町幕府が開かれたのちも東国を管轄する鎌倉府が置かれ、政治の中心地としての役割を果たしました。しかし、鎌倉府が滅亡すると鎌倉は都市としての役割を失い荒廃していきます。そこに現れたのが、伊勢宗瑞(北条早雲)です。宗瑞は、伊豆韮山城・小田原城を拠点に関東へ版図を伸ばし、永正9年(1512)に玉縄城を築きます。玉縄城は、後北条氏の一族が代々城主となり、彼らは玉縄北条氏と呼ばれ鎌倉周辺を治めました。

宗瑞の跡を継いだ後北条氏2代当主の北条氏綱は、鶴岡八幡宮の再建を行い、積極的に鎌倉の寺社を保護していきます。再建には、鎌倉にいた多くの職人たちが携わっており、彼らは後北条氏の庇護を受け、後々まで鎌倉を拠点に活動していくことになります。

本展では、鎌倉府の滅亡以降荒廃した鎌倉において、後北条氏と鎌倉の人々が現代につながる鎌倉の基礎を築いていった様子を、玉縄城跡の出土品や古文書を通してお伝えします。



写真: ①鶴岡平氏綱再興記<快元僧都記>(國學院大學図書館蔵) / ②鎌倉市指定文化財 北条為昌朱印状(光明寺蔵) / ③鎌倉市指定文化財 荏柄社造営関定書案(荏柄天神社蔵) / ④鎌倉市指定文化財 北条氏直書状(荏柄天神社蔵) / ⑤玉縄城跡出土品(鎌倉市教育委員会蔵)

## 鎌倉歴史文化交流館

開館時間 / 10:00~16:00(入館は15:30まで)

休館日 / 日曜・祝日・年末年始

観覧料 / (一般)300円[210円][小・中学生]100円[70円]※

住所 / 〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1

電話 / 0467-73-8501 FAX / 0467-73-8545

E-mail / rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp

HP / www.city.kamakura.kanagawa.jp/rekibun/koryukan.html

Twitter / @kamakura\_kmhc

※[ ]内は20名以上団体料金

※本料金で本館平常展示もご覧いただけます。

※鎌倉市内の小・中学生と、市内の65歳以上の方、または障がい者手帳等の交付を受けた方と付き添い1名は無料となりますので、受付に学生証・福寿手帳等を呈示してください。

アクセス / JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分

※一般用の駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。

※障がい者等用駐車場をご利用の方は事前にご連絡ください。



© Forward Stroke inc

